

第1回筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進委員会 会議録

期 日 平成29年4月14日（金）

時 間 13:30～15:00

場 所 筑紫野市役所 第1別館1階 第11会議室

出席委員

井本委員、安恒委員、川島委員、倉掛委員、山元委員、井上委員、中川委員、鬼木委員、神崎委員、吉村委員、力久委員（名簿掲載順） 以上11人

欠席委員

矢ヶ部委員 以上1人

事務局

企画政策部 宗貞企画政策部長

戦略企画課 中尾戦略企画課長、城塚戦略企画担当係長、寺崎戦略企画担当主任 以上4人

傍聴人 2名

【会議概要】

市 長

1. 開会

事務局の司会により開会

2. 委嘱書交付

委員を代表して安恒委員が藤田市長から委嘱書の交付を受ける

3. 市長あいさつ

皆さん、こんにちは。筑紫野市長の藤田陽三でございます。

まち・ひと・しごと創生推進委員会の委員の就任について快く承認いただきました皆様方に、まずもって厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

ご存知の通り、以前から多くの国の補助金を活用しながら市政運営をつかさどっておりますが、その一部はまち・ひと・しごと創生総合戦略に基づいての交付金という形に変わっております。福岡県内60市町村がそれぞれの特色を活かしながら総合戦略に基づいて計画を立て国に申請をし、その内容如何によって交付金が支給されるという形態であることから、我が市としましても所管課でしっかりと交付金が取れる計画を立て、事業を行っているところでございます。

少し余談になりますが、今年の一般会計予算は312億1千400万円でございますが、昨年までに地方創生関連交付金として約1億円の交付を受けており、一般会計予算の中にはこういったものも含まれております。

本委員会は、総合戦略や、それに基づく事業について委員の皆様にご覧いただき、ご意見をいただくものでございます。非常に重要な委員会でございますので、ご多忙中に大変なご迷惑をおかけすることになりますが、皆様方のお知恵とお力をお貸しいただきながら、ひかり輝く筑紫野市を作るための形づくりを進めていきたいと思っておりますので、皆様方のご尽力を賜ることを心からお願いいたしまして、私からの挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

4. 委員の紹介

委員が名簿記載順に自己紹介を行う

5. 事務局職員の紹介

事務局職員が自己紹介を行う

6. 会長・副会長の選任

筑紫野市まち・ひと・しごと創生推進委員会設置要綱第5条第2項の規定に基づき、会長、副会長の互選を行う

立候補者が不在であったため、事務局から会長を安恒委員、副会長を川島委員とする案を提案し、全員一致で決定

7. 議事

(1) 委員会の運営について

事務局から説明を行い、以下の事項を決定

- ・会議の公開・非公開については、公開する。公開する部分は議事のみ。
- ・傍聴人の定数については、10人を限度とする。
- ・会議録の調製方法は録音機収録による要点記録とする。
- ・会議録は市公式ホームページにおいて公表する。

(2) 地方創生交付金に関する事業の効果検証について

事務局から次のとおり説明を行った

- ・合計特殊出生率と純移動率の改善を図り人口の減少に歯止めをかけるため、筑紫野市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。
- ・平成27年度に地方創生先行型交付金を、平成28年度に地方創生加速化交付金を活用し、総合戦略に基づく事業を実施した。
- ・地方創生先行型交付金を活用した事業のうち、ちくしの魅力発信事業についてはKPIの目標値を達成したが、その他の事業のKPIについては、数値の改善は見られたものの目標値には達しなかった。
- ・総合戦略の進捗状況の評価や、地方創生加速化交付金を活用した事業の評価、今

後の取組のための意見・提案については、次回会議でお願いすることとする。

委員 保育所の待機児童数は、目標値 0 人に対し実績値は 95 人ということでもいいのか。

事務局 資料に掲載しているとおり、平成 28 年 4 月 1 日現在で 95 人である。

委員 民間も合わせた現在の保育所の定員はどのくらいか。

事務局 民間保育所を含め 14 園あり、平成 28 年 4 月現在の定員は 2,040 人である。

委員 例えば、私が住んでいる地域は幼稚園が 1 箇所しかなく、子どもを預けるには二日市や筑紫まで行かなければならない状態である。幼稚園と保育所が一体となった、いわゆる認定こども園への移行について、民間の保育所等への働きかけや促進ができれば、この数字も少しは改善するのではないかと思うのでぜひ検討いただきたい。

事務局 ご意見のとおり、検討することとしたい。

委員 資料の構成について、委員による評価を行い易くするため、施策や基本事業に対する具体的な実施項目の掲載を検討していただきたい。

また、待機児童対策については、公民館で実施している事業や、地域におられる子育てボランティア等も考慮して検討する必要がある。

事務局 体系としては、掲載している基本事業の下に、各課で実施している事務事業が位置付けられている。次回会議において総合戦略の進捗に関する評価をいただく際は、主だった事務事業について掲載させていただきたい。

子どもの居場所づくりについては、ご意見のとおり、公民館や小学校などを含めて検討していく必要があると考える。

委員 ちくしの魅力発信事業とコミュニティ運営協議会活性化事業の KPI 実績値の取得方法は何か。

事務局 ちくしの魅力発信事業は動画の公開と併せた WEB アンケート、コミュニティ運営協議会活性化事業については 3,000 人を対象とした市民アンケートにより取得している。

会長 ちくしの魅力発信事業について、アンケートの回答者が市内在住者かどうかの区別はついているのか。また、市内在住者が住みたいと回答していることはないのか。

事務局 市内外の在住について問う設問を設けており、区別は可能である。また、市内在住者に対しては、今後も住み続けたいかを問う設問としている。

委 員 福祉バスの利用者が増えているというデータがあるが、その理由は分析しているか。

事務局 本事業で福祉バスの運行内容の見直しを行っており、市民の利便性が増した結果と考えている。具体的には、27人乗りのマイクロバス2台を活用した1日あたり4コース15便の運行から、28人乗りのマイクロバス2台と13人乗りのワゴン車1台を活用した1日あたり6コース24便の運行に変更した。

会 長 総合戦略に掲載しているKPIの中に交通空白地域箇所数というものがあるが、これは何を基に設定しているのか。

事務局 駅やバス停までの距離を考慮し、概ね自治会単位での設定を行っている。

委 員 先日の新聞に路線バスの乗客減少に伴う減便や自治体による補助金支出の増加に関する記事が掲載されていたが、本市においても十分起こりうる内容であるため、交通手段の確保については今後もしっかりと検討を進めていただきたい。

事務局 ご意見のとおり、検討することとしたい。

会 長 今回はちくしの魅力発信事業のみが目標を達成しており、他の事業については数値の改善は見受けられるものの達成できていない。目標値の設定方法についてお聞きしたい。

事務局 事業ごとに、当時の状況や将来的な見込みなどを勘案して設定した。例えば、保育所職員配置事業の目標値については、本市では基準値の前年度までは待機児童が発生しておらず、事業実施により当然0人を維持したいというところから設定した。しかし、一部の事業において、その目標設定時の見通しが甘かった点は、今後に向けて反省すべきところである。

会 長 目標達成が難しいことは理解できるので、今後もしっかりとフィードバックをしていただきたい。

8. 事務連絡
謝金の支払いについて、事務局より説明

9. 閉会
15時00分閉会

以 上